

平成20年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）を公表します

平成20年4月22日に「全国学力・学習状況調査」が行われました。大山町の調査結果について2回に分けてお知らせします。

〔調査内容〕

- 小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒が対象
- 教科の調査は、国語、算数・数学の2教科で、「知識」に関する問題Aと「活用」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）に関する問題B
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

この調査は、国語と算数・数学の2教科についての調査であり、児童生徒の学力の全てを見ることはできませんが、町内の各学校ではこの結果も一つの手がかりとして、成果と課題を明らかにして今後の教育活動に生かしていこうとしています。

大山町教育委員会では、学校の取り組みの進捗状況を把握しつつ、さらに、掘り下げた分析・検討を行いながら、より質の高い教育の実現に向けて取り組んでいきます。

教科に関する調査

中学校3年生の状況

国語、数学の両方において、国・県・大山町ともに、問題Bの方がAに比べて平均正答率が低く、活用の力の向上が課題となっている。大山町の平均正答率は、国語Aで2・4ポイント、国語Bで3・7ポイント、数学Aで1・8ポイント、数学Bで2・9ポイント県と比べて低い。国語、数学ともに県と比べてやや低い傾向にあるといえる。

平均正答率 (%)	国語A	国語B	数学A	数学B
大山町	73.1	57.6	62.6	48.0
鳥取県	75.5	61.3	64.4	50.9
全国	73.6	60.8	63.1	49.2

小学校6年生の状況

国語、算数の両方において、国・県・大山町ともに、問題Bの方がAに比べて平均正答率が低く、活用の力の向上が課題となっている。大山町の平均正答率は、国語Aで0・5ポイント、国語Bで2・8ポイント県と比べて高く、算数Aで0・7ポイント、算数Bで1・2ポイント県と比べて低い。国語については、県と比べてやや高い傾向にあり、算数については、やや低い傾向にあるといえる。

平均正答率 (%)	国語A	国語B	算数A	算数B
大山町	68.5	54.5	72.6	51.0
鳥取県	68.0	51.7	73.3	52.2
全国	65.4	50.5	72.2	51.6